

図書館だより 2024.9月号

何だか疲れた・・・という時には。

気分転換のしかたは人それぞれですが、本を読んで気持ちが軽くなることもあるかもしれません。

どんな本があるかわからない、という人へ一例を紹介します。

()は本のラベル記号です。

(498.3 健康法)『10代のための疲れた体がラクになる本』長沼睦雄 著

(493.7 精神医学)『先生！毎日けっこうしんどいです。』尾林誉史 著

(159 人生訓)『迷いがすっきり消える イソップ人生論』植西聡 著

(726.6 メ 絵本)『メメンとモリ』ヨシタケシンスケ 著

もちろん、これらに限らずピンとくるものがきっとあります。
図書館に来て発見してみてください。

農芸高校図書館 2024.9.9 発行



行事も多い2学期が始まりました。
まだまだ暑い日もあるこの時期、
「少し落ち着きたいな・・・」と思ったら図書館へ！

・会議など、職員不在で閉館することがあります。
返却する本は入り口前のポストへ入れてください。

・貸出期間は2週間です。延長したいときは手続きをしてください。



<図書委員のおすすめ本>

『乙女の本棚シリーズ 人間椅子』江戸川乱歩 著 ホノジロトラジ 絵
「作家である佳子に届いた1通の手紙。「奥様」から始まる文章にはある椅子職人の生活が綴られていた。」

人間椅子は描写がリアルで最後まで引きこまれる物語です。このシリーズは、一度は読んでみたい文豪の小説を美しいイラストと共に読むことのできるシリーズです。

ぜひ一度手に取ってみてください。

『本好きの下剋上』香月美夜 著

突然の地震がきっかけで、日本の女子大生は病弱な少女マインの体に異世界転生します。そして庶民でも手に入れられる安価な本を普及させるために奮闘する物語です。

本作りが進んでいく過程が読めるので、本好きの主人公に共感できて、この作品をよりいっそう楽しめると思います。

新しく入った本から

天気のことわざは本当に当たるのか考えてみた 猪瀬隆之 著

「ミミズが地上に出てきたら雨」「猫が顔を洗うと雨」など、山岳気象予報士である著者がその信ぴょう性を解説します。



図鑑を見ても名前がわからないのはなぜか 生きものの“同定”でつまづく理由を考えてみる 須黒達巳 著

著者はクモの研究者で、小学校理科の先生です。観察時のコツ、生き物を見て他と区別するときには起きていることを解説します。



〈弱いロボット〉から考える

岡田美智男 著

周囲の助けがないと完結しないロボットが誕生した経緯とは? 「自分一人で行える」「自己責任」といった社会の価値観にも考えを巡らせる本です。



江戸でバイトやってみた。

櫻庭由紀子 著

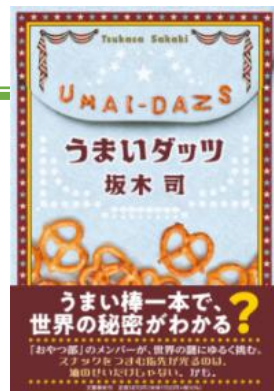
江戸の町にタイムスリップしたら、どんな仕事をしてみたいですか? 現代にもあるお仕事も、当時は事情が異なったようです。



うまいダッツ

坂木司 著

とある高校の「おやつ部」メンバー4人が耳にした不思議な噂。それは「うまい棒1本で世界の秘密がわかるらしい」というもの。さてその真相は??



リラの花咲くけものみち

藤岡陽子 著

獣医師をめざし北海道へ進学した主人公の物語です。

日本ガチャガチャクロニクル

杉村典行 著

昭和～平成のカプセルトイを紹介した本です。今やそのための店舗も登場し、玩具もそれぞれの時代を反映したものであることを実感します。

